

3月定例会・議案など	2
3月定例会・一般質問	3～7
議案等に対する各議員の賛否状況	6～7
議員の一般行政視察など	8
委員会等活動報告	8

令和6年1月11日から令和6年3月31日までの出来事を掲載しました。



令和3年7月に世界文化遺産に登録された大森勝山遺跡は、今から約3000年前の縄文時代晩期の環状列石（ストーンサークル）と大型竪穴建物跡などを主体とする遺跡です。防風林や自然林等に囲まれ、人工物が目に入らない、縄文時代をほうふつとさせるような国内屈指の遺跡景観を有しています。写真は、大森勝山遺跡と岩木山です。（市文化財課提供）

## 議 会 ト ピ ッ ク ス

### 弘前市地酒等による乾杯を推奨する条例案を可決

弘前市議会は、令和6年第1回定例会最終日の3月14日（木）、「弘前市地酒等による乾杯を推奨する条例案」を全28議員の連名で提出し、全会一致で可決しました。

当市は、市内外で広く愛されている日本酒をはじめ、日本一の生産量を誇るりんごを使用したジュースやシードル、地元産ぶどうを使用したワインの製造などが盛んに行われ、これらの産業は地域経済を支える重要な役割を果たしています。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響による飲食業及び関連産業の売上低迷や、物価・エネルギー価格の高騰の長期化など、事業者を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。本条例は、市、事業者、市民が一体となり地酒等による乾杯の習慣を広めることで、広く市内外へPRするとともに、地酒等の消費拡大や地産地消を推進し、幅広い業種の活性化につなげることを目的とし制定されました。



提出者を代表して提案理由を説明する三上 秋雄議員

### 「ゼロカーボンシティひろさき」定例会の初日に市が宣言



議場で「ゼロカーボンシティひろさき」の宣言を行う櫻田 宏市長

令和6年第1回定例会初日の2月16日（金）、櫻田 宏市長は今年度の施政方針及び予算大綱を述べる中で、2050年までに二酸化炭素実質排出ゼロを目指す「ゼロカーボンシティひろさき」を宣言しました。

市は今後、脱炭素社会の実現を目指し、SDGs未来都市の環境負荷の低減に関する取組や、市内を運行する路線バスへの電気バスの導入支援などを行うこととしています。

# 令和6年第1回定例会

## 市長提出議案 46件

【会期：令和6年2月16日(金)～3月14日(木)】

### 3月補正後の令和5年度予算

一般会計 905億8228万7千円  
 (3月補正額 11億4984万1千円)  
 特別会計 442億2612万1千円  
 (3月補正額 9億796万5千円)

- 令和5年度弘前市一般会計補正予算(第13号)  
補正額 2億1692万9千円
- 令和5年度弘前市一般会計補正予算(第14号)  
補正額 2億9433万2千円

- 事件処分の報告及び承認について(事件処分第1号)  
【令和5年度弘前市一般会計補正予算(第11号)】  
補正額 3333万円
- 事件処分の報告及び承認について(事件処分第2号)  
【令和5年度弘前市一般会計補正予算(第12号)】  
補正額 6億525万円

上記の事件処分第1号は、弘前市民会館の冷温水発生機整備工事の経費を計上することとし、この措置に急を要したため処分したものです。事件処分第2号は、物価高騰の影響を受けている低所得世帯及び低所得の子育て世帯に対し給付金を支給するための経費を計上することとし、この措置に急を要したため処分したものです。

## 令和6年度当初予算審査

予算決算常任委員会での令和6年度各予算案に対する反対・賛成討論の要旨を以下に掲載します。

一般会計 827億8000万円  
 (前年度当初予算との比較 38億円増、4.8%増)  
 特別会計 426億9305万円  
 (前年度当初予算との比較 16億7716万1千円増、4.1%増)

### 一般会計予算案に対する討論

○**反対の要旨** 以下の理由で反対する。

- ・デジタル手続とともに、窓口での相談など、対面サービスを拡充し、住民の多面的なニーズに応じることに軸足を置くべき
- ・宿泊者や事業者への負担となる宿泊税導入に反対
- ・市民の個人情報保護対策が脆弱である

○**賛成の要旨** 以下の理由で賛成する。

- ・健康都市弘前の実現に向けた取組に加え、将来にわたって持続可能なまちづくりに積極的に取り組むとした各種事業が予算に盛り込まれている
- ・教育、子育て、商工、農業、観光など、市の将来を見据えた予算が盛り込まれている

### ●令和6年度弘前市一般会計補正予算(第1号)

物価高騰の影響を受けている市民生活への支援として、定額減税しきれないと見込まれる者等に対する給付金を支給するための経費を計上するほか、国の補正予算に伴い、小・中学校屋内運動場の水銀ランプをLED照明器具に更新するための経費を減額するものです。また、小・中学校屋内運動場照明器具LED化更新事業に係る地方債の補正をするものです。

補正額 22億278万1千円

### 3月補正後の 令和6年度一般会計予算

849億8278万1千円  
 (3月補正額 22億278万1千円)

## 人事案件 7件

### ○弘前市副市長の選任について

たなか やすひろ  
 田中 泰宏氏(新任)

### ○弘前市教育委員会の教育長の任命について

よしだ けん  
 吉田 健氏(再任)

### ○弘前市教育委員会の委員の任命について

いとう じゅうごう  
 伊藤 重豪氏(新任)

### ○弘前市固定資産評価審査委員会の委員の選任について

こばやし たろう さとう かつゆき  
 小林 太郎氏(再任)、佐藤 勝幸氏(再任)、

### ○人権擁護委員候補者の推薦について

あきもと みえこ  
 秋元 美恵子氏(再任)

かわむら としつぐ  
 川村 俊次氏(再任)

## 陳情

※陳情書は議員に参考配付しました。

○年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情

○「中小企業支援策の拡充による最低賃金の改善を求める意見書」の採択を求める陳情書

### 令和6年第1回定例会日程

(28日間)

○傍聴者の数：48人

2月16日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	3月6日(水)～8日(金)	常任委員会	予算決算
2月17日(土)～2月27日(火)	議案熟考	3月11日(月)	常任委員会	予算決算
2月28日(水)～3月1日(金)		3月12日(火)～3月13日(水)		議事整理
本会議	一般質問	3月14日(木)	本会議	各委員長の報告、
3月4日(月) 本会議	一般質問、議案付託			質疑、討論、
3月5日(火) 常任委員会	建設、総務、厚生、経済文教			表決、閉会

**一般質問**

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。( )は令和6年第1回定例会時の所属会派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。

※QRコードを読み取ると、一般質問の録画映像を閲覧することができます。



木村 隆洋  
(創和・公明)

**弘南鉄道の今後の在り方について**

**問** 弘南鉄道への支援について市の見解を問う。

**答** 国土交通省東北運輸局は今年1月23日に、弘南鉄道株式会社に対する改善措置の指示を行い、同社が改善措置を講じるに当たっては、実施計画や実施方法等の妥当性について検証するなどにより、再発防止に必要な改善策を策定するとともに法令等の遵守について関係者に

徹底することとされている。市としては、今後の改善状況を注視するとともに、市民の様々な声を行政としても平等に拾い上げ、将来を見据えながら、市民の足である地域公共交通がどうあるべきかについて、沿線の市町村や関係者等としっかりと協議を重ねていく。

〈その他の質問項目〉

○地域経済の現状について ○青の煌めきあもり国スポ・障スポ開催について



樋川 篤子  
(弘前さくら未来)

**教育行政について**

**問** 弘前子ども議会について伺う。

**答** 令和5年度から市議会を基にした議会形式を導入。子供目線の身近な問題を取り上げた提案の中には、市政にとって重要と思われる提案もあり、今後は実現に向けた予算化についても研究していく。

**問** A Iドリルについて伺う。

**答** 教育委員会では令和6年度、A Iドリルの推奨に加えて、次のステップとし

てC B Tの導入を検討するとともに、教員が負担感なくA Iドリルを日常的に活用していくことができるよう、教員の指導力向上を多面的に支援していく。

**中心市街地活性化について**

**問** 市の考えを伺う。

**答** より多くの大学生や高校生を中心市街地に誘引し、興味を持ってもらえるよう、SNSを活用して魅力発信の事業も行うなど、中心市街地の活性化を図る。



竹内 博之  
(弘前さくら未来)

**財政運営と今後について**

**問** 市民税や固定資産税など、市税の状況と今後の見通しについて伺う。

**答** 市民税は人口減少が進んでいく中であっても、所得の上昇などにより横ばいを維持し、固定資産税は、評価額の下げ止まり傾向が見られるものの、評価替えの令和6年度、令和9年度は、減額を見込み、市税全体では、ほぼ横ばいで推移していくものと推計している。

**弘南鉄道株式会社への支援と今後について**

**問** 市の見解を伺う。

**答** 弘南鉄道株式会社においては、安全安心な鉄道事業者としての使命を果たすとともに、地域の皆様の信頼を回復するためには、外部の知見を積極的に取り入れ、安全管理はもとより、抜本的な組織改革と経営改革に取り組むことが必要であると考えている。



野村 太郎  
(無所属(東雲))

**弘南鉄道及び他の地域公共交通の今後について**

**問** 地域公共交通に関する市の基本的な考え方、弘南鉄道の位置づけ等を伺う。

**答** 策定中の地域公共交通計画で、弘南鉄道弘南線・大鰐線は、市と沿線市町村の拠点を結ぶ公共交通ネットワークの一つとして、路線バス等の他の公共交通と合わせ、需要に応じたサービスと新たなネットワークの創出を目指すとしている。

**市立図書館の在り方について**

**問** 図書館の図書に関する担いがより重要になると思うが、指定管理者制度導入後の状況変化等について問う。

**答** 新型コロナウイルス感染症拡大による閉館等で貸出者数や貸出冊数の大きな伸びはないが、制度導入で様々なサービスが提供され利用促進効果は大きいと考える。教育委員会ではさらなる利用促進に向け指定管理者と多彩な取組に努める。



松橋 武史  
(櫻鳴会)

**櫻田市長のこれまでの農業行政とこれからの農業行政について**

**問** 水田農業に対して、今後どのように取り組もうとしているのか伺う。

**答** 令和6年度予算に、農作業省力化・効率化対策事業における新たな支援メニューとして、水田でのスマート農業機械の導入を計上したところである。

**学校や歩道、公園などの大木や古木などの危険性とその対策について**

**問** 子どもの安全や保護者の安心のため、計画的な安全確認や危険木の判定作業等が必要と考えるが市の認識は。

**答** 現在、市立小中学校には小学校1636本、中学校815本の樹木があり、その安全点検は、教職員が幹の揺らぎや不自然な傾斜、亀裂、樹勢、樹形等を確認している。今後は、専門業者による調査・点検を計画的に実施し、児童生徒の安全性を確保していく。



佐藤 哲  
(櫻鳴会)



**櫻田市政における新規・拡充医療政策について**

**問** 新たに開始または拡充されたものは。  
**答** 医療分野は、弘前総合医療センターを開設したほか、健康づくりのまちなか拠点の整備を進めている。また、子供医療費について、18歳到達年度末まで保険診療分を完全無償化したほか、新生児聴覚検査費用の一部助成を実施。保健分野は、市独自に胃がん内視鏡検診等を実施。

また、慢性腎臓病が生活習慣病と深く関わっているため、弘前大学病院循環器腎臓内科と連携し、かかりつけ医と腎臓専門医の連携体制の整備を進めている。市は、健康都市弘前の実現に向け関係機関と連携を図り、市民の健康寿命の延伸に向けた取組を進め、市民が元気で活躍でき、住み続けたいまちづくりを推進する。  
 〈その他の質問項目〉○学校給食の無償化 ○困窮者の葬祭扶助



坂本 崇  
(櫻鳴会)



**旧市民参画センターほか跡地について**

**問** 今後の利活用について問う。  
**答** 市民参画センター等の跡地は、弘前公園や旧第五十九銀行本店本館などに近接し、景観上はもとより、観光利用を考える上でも重要な場所であることから、そのポテンシャルを十分に生かせるような利活用方法を検討する。  
**日本基督教団弘前教会旧牧師館について**  
**問** 解体保存された建物の現状は。

**答** 牧師館は、明治39年に建築され、教会堂に隣接して同一敷地内に建っていたが、平成8年に、老朽化により解体された際、明治期を代表する貴重な歴史的建造物として、市が保存することになり、寄贈を受けたもの。解体から30年近くが経過しており、弘前教会からは、早期の復原が要望されている。市としては、その価値を後世に引き継ぐことができるよう、活用方法等について検討していく。



石山 敬  
(創和・公明)



**空き家の解消に向けた市の取組について**

**問** 法改正後の取組について問う。  
**答** 空き家は適正管理されず放置されることで地域の防災等を阻害し、老朽化による倒壊は人命に関わる問題となること懸念され、今後も人口減少等を背景に増加が予想される。これまでの取組に加え、新たに可能となった対策を有効に活用し、空き家の発生予防や解消を図り、市民の安全で安心な生活環境を確保する。

**除雪困難者の雪対策について**

**問** 支援について問う。  
**答** 市社会福祉協議会による除雪支援事業に対する補助金交付に当たっては、支援内容の見直し等も含め協議し、除雪困難者世帯の除雪を支援していく。  
 〈その他の質問項目〉  
 ○水田活用における令和5年産の取組の検証と令和6年産の生産数量目標及び取組内容 ○鳥獣害対策



須藤 江利加  
(日本共産党)



**避難所運営について**

**問** 市では、どの程度男女共同参画の視点を取り入れているのか問う。  
**答** 施設の規模により、授乳室や更衣室等を確保できない場合も考えられるため、パーティションや屋内テントを災害備蓄品として用意している。このほか、生理用品や乳幼児用の液体ミルクと授乳用の「人工の飲み口」、食物アレルギー対策として呼吸困難や意識障害等を引き起こす

す原材料を使用していない「おかゆ」、乳幼児用おむつなどを用意し、女性を含めた多様なニーズに配慮している。介護用品として大人用おむつや介護食としても使用できる「おかゆ」、段ボールベッドやエアマットのほか、携帯トイレやその臭いを抑える袋等も備蓄を進めている。  
 〈その他の質問項目〉○放課後児童健全育成事業(なかよし会) ○建築行政(建築物の耐震化、空き家対策)



蛸名 正樹  
(創和・公明)



**建設工事発注の平準化について**

**問** 今後どのように対応するのか問う。  
**答** 他自治体の取組事例を参考にし、債務負担行為や繰越明許費のさらなる活用による翌年度にわたる工期設定、発注計画に基づく進行管理の徹底や、特に重要な積算の前倒しに取り組み、建設工事のさらなる平準化を図っていく。  
**横断歩道など路面標示の再生補修について**

**問** 春のさくらまつりに合わせて補修を行うこと等を関係機関に働きかけていくべきと考えるが、市の見解を問う。  
**答** 緊急性の有無に関わらず必要と認められた横断歩道の補修については、早期に対応してもらうよう、弘前警察署を通じて青森県警察本部へ働きかけていく。  
 〈その他の質問項目〉○建設工事の適正な工期設定 ○2024年問題による建設工事への影響 ○除排雪体制の維持



成田 大介  
(弘前さくら未来)



### 部活動改革について

**問** 今後どのような方向性で進めるのか。

**答** 部活動の地域移行検討委員会会議及び作業部会会議をこれまで合わせて8回開催し協議してきた。地域移行も含め部活動の在り方を見直す等、より良いものにつくり変えることを目的に「部活動改革」として改革案を策定。令和8年度からの改革の実現に向け、生徒や保護者、スポーツ団体等の意見を取り入れ、令和

6年度から令和7年度末までの2年をかけ現行部活動の再編等の課題に取り組む。

### 犯罪被害者等支援条例について

**問** 犯罪被害者への支援制度を伺う。

**答** 被害者等を地域全体で支え安心して暮らせる社会の実現を目指し、令和4年4月に市犯罪被害者等支援条例を施行。支援制度は、被害者や遺族への見舞金給付、被害により転居を要した場合の費用助成等を県内自治体で初めて制度化した。



蒔苗 博英  
(創和・公明)



### りんご輸出状況と、害虫モモシクイガのコンフューザーRの普及と今後の対策について

**問** 県6年産りんご防除暦にコンフューザーRが追加されたことへの市の認識は。

**答** 最大の輸出先である台湾でモモシクイガが発見された場合、生果実の輸出が停止され、果実産業に深刻な影響を及ぼすこととなる。市は、コンフューザーRを活用した発生抑制に向け、県に対し、

県内全域での利用定着に向けた継続的な支援と、新たに使用できる薬剤の開発を国へ働きかけるよう要望する等、一体的な防除体制の確立が図られるよう努める。

### 市立小中学校のトイレ洋式化の整備状況と整備完了予定について

**問** 洋式化が完了していない学校数は。

**答** 令和5年度末時点で洋式化が進んでいない学校は、小学校3校、中学校3校。令和6年度夏休み中の整備完了を目指す。



志村 洋子  
(創和・公明)



### 災害対策について

**問** 個別避難計画作成に向けた取組は。

**答** 市では、個別避難計画の実効性をより高めるため、町会、自主防災組織、福祉専門職などを加えた多様な主体に参画を呼びかけ、地域の災害リスクや避難行動要支援者数などの全体像を共有する地域説明会のほか、要支援者の避難先や避難方法について具体的な検討を行う支援会議を開催した。支援会議を通じ、要支

援者と地域との接点が生まれるなど、地域支援者確保に向けた動きも進んでいる。

### 弘前子ども議会について

**問** 市民への周知について伺う。

**答** 各校の児童生徒が、それぞれ自分たちの学校や地域をより良くしていこうとする視点で、意見や質問を考え、真剣に臨んだ子ども議会の様子は、今後、「子ども議会だより」としてまとめ、市民や関係者に広く周知を図っていく。



竹浪 敦  
(創和・公明)



### 弘前大学と行政の連携について

**問** 弘前市との連携に関する相互協力協定について伺う。

**答** 弘前大学との包括連携協定では、多様な分野において相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に、「教育及び人材育成に関すること」、「健康・医療・福祉に関すること」など8項目を協力事項として定めている。弘前大学との連携により、市の施策の充実

や地域住民への貢献、地域経済への波及など、様々な効果が得られており、弘前大学とともに発展できることは当市の強みであると考えている。また、大学との連携のみならず、在籍する学生の力も地域の発展に大きく寄与している。当市は約1万人の学生が学ぶ学都であることから、「弘前市協働によるまちづくり基本条例」において、学生を「まちづくり」の主体に位置づけているところである。



石岡 千鶴子  
(無所属(りんごの会))



### 岩木山登山道整備について

**問** 4本ある登山道の整備状況と予算について。

**答** 嶽登山道及び百沢登山道は日赤岩木山パトロール隊が、弥生登山道及び新たに登山道として国から借り受ける手続を進めている大石赤倉登山道については、津軽百年の森づくりに整備や事前調査を実施いただいている。1ルート当たり20万円を上限に、作業に係る謝礼金を

支払っている。また、4ルートの整備に必要な物品などを総額50万円の範囲内で支給している。

### 白神山地世界遺産登録30周年における市の方向性について

**問** 白神山地世界遺産の玄関口として、公園にブナの植樹をすべきではないか。

**答** 公園の高木化した植栽樹木が倒木する危険性への懸念や落ち葉の苦情等が多く、基本的に新たな植樹を行っていない。





赤平 泰衛  
(弘前さくら未来)



### 地域公共交通の再生とライドシェアについて

**問** 地域公共交通政策としてのタクシー事業の役割とライドシェアの認識を問う。

**答** 今後、地域の公共交通ネットワークを形成していくため、タクシー車両を活用した相乗りタクシーやA I オンデマンド交通の実施を計画に位置づける予定である。ライドシェアの在り方については、今後、整備される国の法制度を注視しな

がら慎重に検討していく。

### 当市職員の賃金改善について

**問** 県で実施済みの初任給基準の見直しについて本年4月に行う考えはあるか。

**答** 市としては、国家公務員の初任給基準に準じることが最も民間給与との均衡が図られるとの認識の下、給与改定や制度改正を行ってきた。引き続き、令和6年度中に示される国の給与制度見直しの動向を注視し、適切に対応していく。



畑山 聡  
(創和・公明)



### 弘南鉄道大鰐線について

**問** 支援を今後どうするのか伺う。

**答** 昨年8月の弘南鉄道大鰐線における列車脱線事故、及びその後に確認されたレール摩耗による弘南線・大鰐線両線の運転見合わせを踏まえて、12月に実施された国土交通省東北運輸局による保安監査の結果、本年1月23日に弘南鉄道株式会社に対し改善指示が行われた。市としては、大鰐線の令和8年度以降の在

り方を検討するに当たって、安全安心な地域公共交通を支え、活かしていくため、事業者及び関係者と議論を深め、地域全体を考えた地域公共交通の維持活性化に取り組んでいく。

#### 〈その他の質問項目〉

○防災対策について（樋の口浄水場の浸水対策、災害時におけるドローンの活用）  
○令和7年度からの上下水道料金の値上げについて



工藤 裕介  
(弘前さくら未来)



### 健康都市弘前実現のための施設整備について

**問** 健康づくりのまちなか拠点事業は、以前より市民の関心が非常に高いものと認識しているが、旧第一大成小学校跡地の整備について、今後の方針等を問う。

**答** 旧第一大成小学校跡地は、健康づくりのまちなか拠点の外部空間として、日常的な運動や憩いの場、各種イベント等の様々な活動の場として市民の健康増進

に寄与する空間づくりを進めることと基本構想に方針を定めている。旧市立病院と合わせて地域防災拠点としても位置づけており、災害時の避難場所等としての活用も想定している。整備に当たり、現段階では、大きな建築物を建設するのではなく、運動やイベント等に活用できる広場と駐車場とする方針は変わらず、健康づくりのまちなか拠点の外部空間として整備することとし、設計を進めていく。



千葉 浩規  
(日本共産党)



### 地域公共交通について

**問** 地域公共交通は「移動の権利」を保障することで、広く公共の福祉を増進させる役割を担っている。市民の移動する権利に対する考えを答えよ。

**答** 世界を見渡すと、移動に関する権利、交通手段の選択の自由などを含む概念として、いわゆる「交通権」が提唱されており、ヨーロッパでは法律として定められている国もある。一方、我が国では、

「交通権」は法律上の定めはないが、日本国憲法第25条の生存権の一部とする学説もあり、移動の自由は誰にでも保障されるべきものと捉えることができる。このような社会情勢や国の動きを踏まえると、地域公共交通はなくてはならない市民の足であり、その重要性は今後ますます高まっていくと認識している。

#### 〈その他の質問項目〉

○旧弘前市立病院整備について

ーは採決に加わらなかったもの。  
議長（尾崎寿一）は採決に加わっていません。

木村 隆洋	千葉 浩規	野村 太郎	外崎 勝康	尾崎 寿一	蒔苗 博英	松橋 武史	石岡 千鶴子	三上 秋雄	佐藤 哲	工藤 光志	清野 一榮	田中 元
○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○

### 令和6年第1回定例会審議結果

※議会での慎重審議により、承認、可決、同意となりました。

市長提出議案：46件

予算関係：17件、条例関係：15件、その他：14件

議員提出議案：1件

### 弘前市議会ホームページ

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報はこちらでご覧いただけます。



# 会派一般行政視察

弘前さくら未来・無所属議員(弘心 工藤光志)

1月16日(火)～17日(水)

①山形県山形市

○インクルーシブ児童遊戯施設について



山形市(シェルターインクルーシブプレイス コパル(山形市南部児童遊戯施設))にて

無所属議員(東雲 野村太郎)

1月23日(火)～25日(木)

①和歌山県和歌山市

○和歌山市民図書館管理運営業務について

②奈良県奈良市

○奈良市放課後児童健全育成事業施設昼食提供事業について



和歌山市(和歌山市民図書館)にて

# 委員会行政視察

## 厚生常任委員会

2月6日(火)～7日(水)

①北海道函館市

○函館市地域交流まちづくりセンターについて



函館市(函館市地域交流まちづくりセンター)にて

# 委員会等活動報告

## 議会改革特別委員

1月22日(月) 市役所

- ①今後の運営方針について
- ②次の委員会の開催日について

3月14日(木) 市役所

- ①協議案件の優先順位について
- ②次の委員会の開催日について

## ひろさき市議会だより編集特別委員会

1月26日(金) 市役所

- ①掲載内容について

3月14日(木) 市役所

- ①掲載内容について
- ②編集日程について

# 行政視察受け入れ

弘前市議会での行政視察受け入れ実績(令和5年度)

→ 16団体、119人

## 主な視察項目

市民参加型まちづくり1%システム、観光行政、新規就農に係る取組など

受け入れにあたっては、弘前市内での宿泊や食事、お土産のお勧めをしており、実際に多くの方が利用しています。

## 議会を傍聴しませんか

議会(本会議、委員会など)は原則、どなたでも傍聴でき、市役所前川本館4階で受付しております。本会議及び予算決算常任委員会は、インターネット中継でご覧になれるほか、市役所前川新館1階市民ギャラリーにモニターテレビを設置し、中継放送もしております。

令和5年は、述べ236名の方が議会を傍聴しました。



左の写真は傍聴席、右の写真は傍聴席から実際に見た議場の様子です。傍聴席は一般席32席(通常時)、車いす用の傍聴スペースは2台分あり、市政に関する議員の質疑や市長等の答弁の様子を、近くで見ることができます。(席数に限りがあるため、入室できない場合もあります。)

### 次回定例会日程(予定)

- (5月31日(金)) 議会運営委員会 会期日程等の協議
- 6月7日(金) 開会日(本会議) 開会、会期の決定、提案理由の説明
- 7月2日(火) 閉会日(本会議) 各委員長の報告、質疑討論、表決、閉会

※日程については、議会開会前にホームページ等でご確認ください。

「ひろさき市議会だより」について、ご意見・ご感想などがありましたら、今後の参考にさせていただきますのでTEL・ファクス・メールなどでお気軽にご連絡ください。

## 定例会一般質問等のラジオ放送

本会議の傍聴やインターネットでの中継視聴ができない方のため、ラジオ放送もしています。FMアップルウェーブ(周波数78.8メガヘルツ)で、一般質問等の様子を当日午後8時から放送します。※緊急時、災害時には変更される場合もあり。

## 表紙の写真大募集!!

- ◎テーマ 弘前市内で撮影された写真(風景・まつり・イベントなど)
- ◎規格 デジタル写真データ(JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)
- ◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方
- ◎応募方法 写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。※メールの場合は、件名に「だより表紙写真」と入力してください。
- ◎締め切り 締め切りは令和6年7月10日(水)です。また、応募写真が必ずしも採用されるとは限りません。
- ◎掲載時期 令和6年9月発行予定の第79号

QRコードを読み取るとメールの作成画面が開き、簡単に応募することができます!



【詳しくはホームページ、または議会事務局へ】